

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市津雲台マンション新築	階数	地上14F、地下1F
建設地	吹田市津雲台5丁目20番88-1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、指定な	平均居住人員	1,005 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月30日
敷地面積	12,110 m <sup>2</sup>	作成者	不二建設株式会社 一級建築士事務
建築面積	2,358 m <sup>2</sup>	確認日	2016年5月31日
延床面積	20,321 m <sup>2</sup>	確認者	不二建設株式会社 一級建築士事務所 西村謙司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 居住者の快適な生活環境を維持する為、遮音性や断熱性を高めた。環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。また周辺地域への配慮としてできる限りの緑化を計画した。		0
<b>Q1 室内環境</b> 隣戸間における生活騒音の配慮として、床・壁遮音性能を高めている。 住居部分に大開口の窓を設け昼光利用に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 情報通信社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう、大容量ブロードバンドを設けている。設備に関し将来にわたり維持管理ができるよう努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺環境との共有空間をつくり出す工夫をし、アスファルト舗装面をできる限り少なくし、緑地部分を確保している。また、既存樹木を残し生物資源の保存に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 住戸内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。高性能設備機器を採用し、省エネルギーに努めている。またコージェネレーションシステムを採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 利用できる範囲でリサイクル材料を使用し、分別しやすいように配慮している。 また、ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用し環境にやさしい資源を積極提起取り入れている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。 また、十分な廃棄物保管スペースを設置し、ゴミの分別にも取り組んでいる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0039

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)吹田市津雲台マンション新築工事					
		建設地	吹田市津雲台5丁目20番88-1					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		3	
					住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
水資源保護		CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								